

令和4年度 主要事業評価シート

① 基本事項	計画コード	22091	事業名	放課後児童クラブ事業			
	事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助等 <input type="checkbox"/> その他(指定管理)					
	施策体系	施策の大綱	04:子育てと子どもの成長を支える環境の充実		予 算 科 目	会計	01:一般会計
		基本施策	02:安心して子どもを産み育てられる環境づくりの推進			款	03:民生費
		施策の方向	06:子どもの居場所づくりときめ細かな子育て支援の推進			項	02:児童福祉費
		重点プロジェクト	04:「未来へのピラ」プロジェクト			目	01:児童福祉総務費
事業期間	H 17 年度 ~ R - 年度	主な根拠法令等	児童福祉法				

評価分類	A1
------	----

担当部署	
部	健康福祉部
課	子ども未来課 子育てサポートG

② 事業概要 (P)	事業の必要性(経緯・背景等)	事業の対象(誰に、何に対して)	事業の目的(どのような状態にしたいのか)	事業の内容(どのような取組を行うのか)
	児童福祉法第6条の3第2項に規定する放課後児童健全育成事業について、同法第21条の9の規定により着実に実施されるよう、必要な措置の実施に努めなければならないとされている。	小学校に就学している児童であって、その保護者が労働等により昼間家庭にいない児童及び保護者	授業の終了後に放課後児童クラブで適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る。	公設については指定管理による運営を行い、民設については、運営に係る費用の補助を行う。また、通学する小学校に放課後児童クラブがない児童に対し、校区外放課後児童クラブへの送迎支援を実施する。

年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
③ 事業の実施状況 (P・D)	事業計画	○放課後児童クラブの運営及び支援 ○校区外放課後児童クラブ通所送迎事業 ○放課後児童クラブの新設	○放課後児童クラブの運営及び支援 ○校区外放課後児童クラブ通所送迎事業	○放課後児童クラブの運営及び支援 ○校区外放課後児童クラブ通所送迎事業	○放課後児童クラブの運営及び支援 ○校区外放課後児童クラブ通所送迎事業		
	活動実績 (計画通り実施できたか)	放課後児童クラブ(24支援単位)に対し運営費補助等を行うとともに、放課後児童クラブが設置されていない小学校区から通学区域外のクラブへ通所する児童の送迎事業を実施した。また、利用希望に関するアンケートの結果、放課後児童クラブの新設は行わなかったが、児童数の増加に伴い、定員を増員するための既存施設の改修に係る費用を補助した。					
計画額	事業費	事業費	211,600千円	216,861千円	205,100千円	210,600千円	216,300千円
		国・県支出金	131,700千円	135,820千円	127,100千円	132,000千円	137,000千円
		地方債					
		その他	50千円	50千円	50千円	50千円	50千円
		一般財源	79,850千円	80,991千円	77,950千円	78,550千円	79,250千円
決算額	事業費	事業費		210,096千円			
		国・県支出金		127,731千円			
		地方債					
		その他		50千円			
		一般財源		82,315千円			
①期間内事業費(R4-7)		843,600千円	②期間外事業費(R8-)	-	①+②総事業費	-	

(令和4年度予算額の内訳)

前年度からの繰越額	0千円
当年度の最終予算額	216,861千円
次年度への繰越額	0千円

④ 指標 (C)	指標名	説明等	種別	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	放課後児童クラブの充足率	利用を希望する児童に対するクラブの充足率(利用児童数/利用申込者数)		成果	%	計画値 実績値	100 100	100	100
					計画値 実績値				
					計画値 実績値				

⑤ 成果 (C)	事業実施により得られた成果(誰に(何に)対してどのような効果があったか)	
	A	放課後児童クラブへの運営費などの支援を行うことで子どもの適切な遊び及び生活の場を確保することができた。また、新型コロナウイルス感染症対策については、必要な物品購入等に係る費用を補助することにより、感染症対策を徹底し、安心できる居場所の確保につなげることができた。
	十分な成果を得た	

事業の対象	事業の目的
小学校に就学している児童であって、その保護者が労働等により昼間家庭にいない児童及び保護者	授業の終了後に放課後児童クラブで適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る。

(再掲)

⑥ 課題 (C)		事業の達成状況等を踏まえた課題事項
		市全体での少子化の傾向は続くと考えられるが、小学校区により、ニーズが増加する可能性がある小学校区と減少する可能性がある小学校区があることから、今後の利用ニーズの動向に留意が必要な状況である。

⑦ 事業 の 展 開 (A)	方向性	
	継続(現状維持)	現状どおり事業を継続する
	改善・見直し内容	
	令和5年度で対応する(した)もの 引き続き国・県の交付金を基準とし、放課後児童クラブへの運営費の支援などを行う。	令和6年度以降で対応するもの 引き続き、国・県の交付金を基準とし、放課後児童クラブへの運営費の支援などを行い、利用ニーズの動向により放課後児童クラブの新設の検討を行う。

【 履 歴 】		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	成果判定	A			
	事業展開	継続(現状維持)			

1次評価者	健康福祉部子ども未来課子育てサポートGL 草川 温子
最終評価者	健康福祉部子ども未来課長 佐野 匡史